

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切にする生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

令和5年度
学校だより No. 9
令和5年 7月20日

市川市立第二中学校
校長 杉山 哲

ホームページ <https://ichikawa-school.ed.jp/dai2-chu/>

1学期を終えて

4月以降、生徒たちは体育祭、修学旅行、生徒総会などの行事や、「夢」「命」「絆」を意識した日々の主体的な学習や様々な取組を通して一人一人が力をつけ、心もしっかり成長していると感じます。

今日行われた1学期最後の全校集会では、こんな話をしました。

今日で1学期が終了します。4月に入学・進級してから、長かったと感じている人もいれば、あっという間だったという人もいるかもしれません。

1学期の中学校生活はどうでしたか。自分自身の良かったところ、足りなかったところ…振り返ってみると、どんな評価になりそうですか。

皆さんにはこれまで、「未来を拓く喜びと希望をもって自分を磨き、これからの時代を生き抜く力をつけていってほしい」ということと、「人は皆、ありのまま、そのまま掛け替えのない存在なんだ、ということをお忘れず、自分自身や周囲の人を大切にしてほしい」という思いを伝えてきました。未来につながる目標を見つけ、日々努力することはできましたか。自分自身や周囲の人の価値を認め、大切にすることはできましたか。そんな視点でも自分を見つめ直し、今後の学校生活に生かしてください。

さて、明日から42日間の夏休みに入ります。せっかくの長いお休みですから、ぜひ有意義に過ごしてください。有意義な夏休みにする秘訣は、「何かをやり遂げる」か「何かに出会う」ことだと思います。

「やり遂げる」のほうは、「毎日日記を書く」「本を10冊借りてきて読破する」「毎朝早起きしてランニングをする」とか、部活をやっている人は「強いサーブが確実に入るようになる」「自己新を出す」「一つ上のレベルのテクニックを身に着ける」など…何か一つでも二つでも。はじめに目標と計画があったほうがいいですね。もちろん自分の趣味や好きなものに関することでもいいと思います。3年生は、やはり勉強や進路に関することになるかもしれませんね。「これと決めた問題集を3回繰り返しやりつくす」「決めた範囲の英単語をすべて覚える」など、やり遂げれば自信につながると思います。

「出会う」のほうは、人との出会いでも、特別な体験でも、芸術作品でも、本や映画でも。この後の自分に影響を与えるような「何か」に出会えば最高です。そのためには、好奇心をもって周囲にアンテナを張り、積極的にいろいろなことに挑戦してみてください。どこかに出かけてもいいし、馴染みのある場所や、日常の出来事の中にもその気になれば新しい「出会い」がきっとあります。

それでは、この夏休み、くれぐれも自分を大切に、9月1日に元気な姿を見せてください。何かを達成し、あるいは何かに出会って、一回り成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

総合体育大会

各部活動の「総合体育大会」が始まっています。3年生にとっては最後の大会。入部を決めたその日から、毎日練習を積み重ね、仲間と一緒に心と体を鍛えた日々の集大成。下級生にとっても先輩の雄姿を見られる最後の時間です。みんな特別の思いで試合に臨み、4年ぶりに全面解禁となった保護者の応援も一体となって、各会場で熱い戦いが繰り広げられています。

培ってきた力を全て出し切り、必ず訪れる最後の瞬間が、達成感や充実感に包まれた感動の時間になるよう願っています。頑張ってください。



学校生活の様子・総体の様子を、二中ブログ（HP）に掲載しています。ぜひチェックしてみてください！

